

# 八戸物流フォーラム 参加者アンケート集計結果

フォーラム当日、ご参加いただいた皆様を対象として、アンケートを実施し、その結果を集計いたしました。

## 八戸物流フォーラム「物流の2024年問題を考える」 開催概要

開催日時 令和5年5月9日(火) 13:00~16:00

会場 プラザアーバンホール(八戸市柏崎1丁目6-6)

主催 公益社団法人青森県トラック協会  
青森県トラック協会三八支部 青年部会

後援 国土交通省 東北運輸局 青森運輸支局  
厚生労働省 青森労働局  
八戸市  
八戸商工会議所

プログラム 第1部 テーマ「2024年問題にいかにも備えるか」  
講師 立教大学経済学部 教授 首藤 若菜 氏

第2部 テーマ「2024年問題に関する関係法令」  
講師 国土交通省 東北運輸局 青森運輸支局  
厚生労働省 青森労働局 八戸労働基準監督署

テーマ「物流分野における適正取引の推進」  
講師 公正取引委員会 東北事務所

プレゼンテーション「物流の2024年問題を考える」  
プレゼンター 青森県トラック協会三八支部 青年部会

参加者数	荷主企業等	161名
	運送事業者	165名
	行政機関	26名

2024年(令和6年)4月1日、働き方改革関連法により、トラックドライバーの時間外労働規制が導入されるとともに、「自動車運転者の労働時間等の改善基準」が見直されることから、物流に大きな影響が出るものと予測されています。いわゆる「物流の2024年問題」です。

本フォーラムでは、物流の輸送体制の変化により、地域経済にどのような影響が及ぼされるのかを学び、また、物流の将来の在り方について、ご参加の皆様とともに考え、多くのご意見をいただきたいと考えております。

# 物流の

# 2024年問題を考える

日時

2023  
**5/9** **火** 13:00-16:00  
[12:30受付]

会場

**プラザアーバンホール** 八戸市柏崎1丁目6-6

【対象者】 荷主企業及び関係団体  
八戸商工会議所会員  
青森県トラック協会会員  
他 参加希望者

## プログラム

### 第1部

テーマ

「**2024年問題にいかに備えるか**」

講師 立教大学経済学部 教授 **首藤 若菜氏**

### 第2部

テーマ

「**2024年問題に関する関係法令**」

講師 東北運輸局青森運輸支局  
八戸労働基準監督署

テーマ

「**適正な取引の推進について**」(仮)

講師 公正取引委員会 東北事務所

プレゼンテーション

「**物流の2024年問題を考える**」

青森県トラック協会三八支部

### 第1部講師



**首藤 若菜**  
しゅとう わかな

立教大学経済学部教授。労働経済論担当。日本女子大学大学院人間生活学研究科単位取得退学。博士(学術)。専門は労使関係論、女性労働論。持続可能な物流実現に向けた検討会の委員などを努める。主な業績「雇用か賃金が 日本の選択」(筑摩新書)、『物流危機は終わらない;暮らしを支える労働のゆくえ』(岩波新書)、『グローバル化のなかの労使関係;自動車産業の国際的再編への戦略』(ミネルヴァ書房)、『統合される男女の職場』(勁草書房)など。NHK「クローズアップ現代一送無料の闇、トラックドライバーの悲鳴」(2022.11/8放送)コメンテーター出演。他 新聞コラム、対談掲載多数。

**参加無料** 申込〆切 **4/28** **金**

[申込方法] **裏面**の「**申込用紙**」により  
**FAX**にてお申込みください。

申込・問合せ先

**青森県トラック協会三八支部事務局**

TEL **0178-28-2131**

FAX **0178-29-4754**

主催 公益社団法人青森県トラック協会 / 青森県トラック協会三八支部青年部会

後援 国土交通省東北運輸局青森運輸支局 / 厚生労働省青森労働局 / 八戸市 / 八戸商工会議所

# 八戸物流フォーラム アンケート

2023/5/9

業 種 [ 荷主等 ・ 行政機関 ・ 運送事業者 ・ その他企業 ]

該当するものを で囲んでください。

Ⅰ. 八戸物流フォーラム全体の理解度について、該当する数字に○印を付けてください。

理解出来た 5 4 3 2 1 理解出来なかった

・ 第1部の理解度（該当する数字に○印を付けてください。）

・ 首藤教授の「2024年問題にいかにも備えるか」

理解出来た 5 4 3 2 1 理解出来なかった

・ 講演の感想についてお聞かせください。

--

・ 第2部の理解度（該当する数字に○印を付けてください。）

八戸労働基準監督署「改善基準告示等の関係法令」

理解出来た 5 4 3 2 1 理解出来なかった

青森運輸支局「標準的な運賃・行政処分基準、状況・荷主対策の深度化等の関係法令」

理解出来た 5 4 3 2 1 理解出来なかった

公正取引委員会「物流分野における適正取引の推進」

理解出来た 5 4 3 2 1 理解出来なかった

青年部会プレゼンテーション「物流の2024年問題を考える」

理解出来た 5 4 3 2 1 理解出来なかった

・ 2024年問題の対策として考えられる項目に 印をつけてください。（複数回答可）

- 1. 積込・積卸時間の短縮
- 2. 待機時間の短縮
- 3. 共同配送
- 4. 車両の大型化
- 5. 中継輸送・中継拠点の設置
- 6. 積込・取卸場所の集約
- 7. パレット化
- 8. 適正運賃・料金の理解
- 9. リードタイムの延長
- 10. 運行計画の変更
- 11. 発荷主の理解協力
- 12. 着荷主の理解協力
- 13. 商品の物流価格明確化
- 14. 国や地方公共団体の施策
- 15. モーダルシフト（鉄道・船舶等へのシフト）
- 16. 公的支援
- 17. その他（ ）

・ 八戸物流フォーラム全般に関してご意見ご感想がございましたらご記入ください。

--

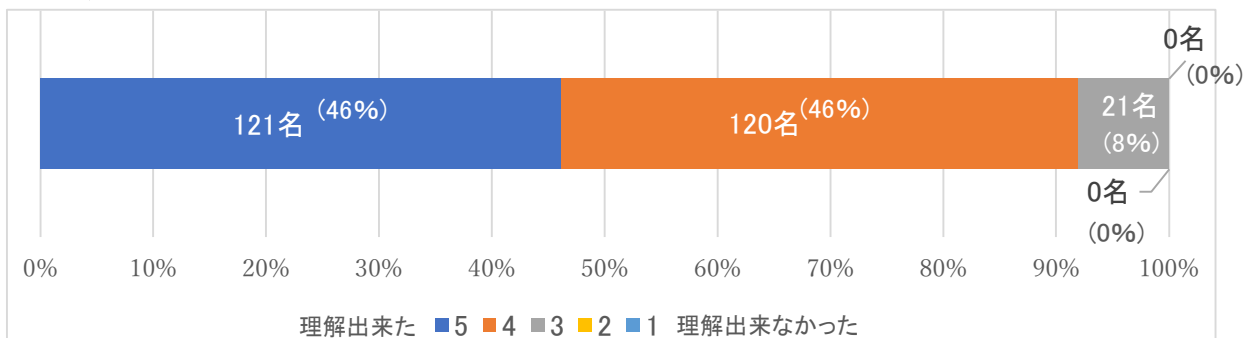
ご協力ありがとうございました。

企業名	役 職	ご芳名

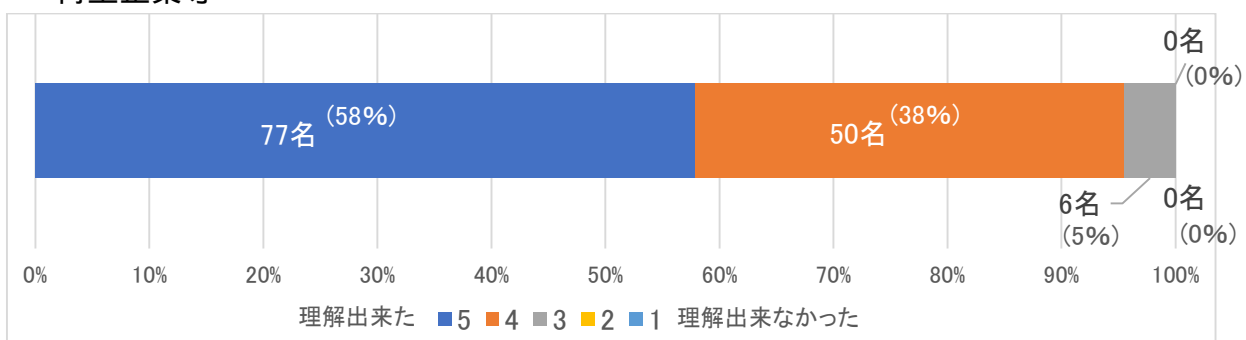
任意ですが、宜しければ企業名・役職・ご芳名をご記入ください。

## ・ 八戸物流フォーラム全体の理解度について

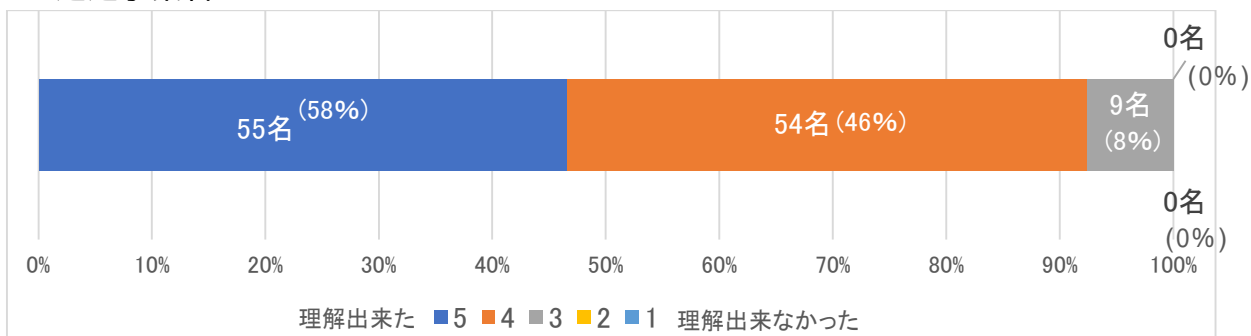
### 参加者全体



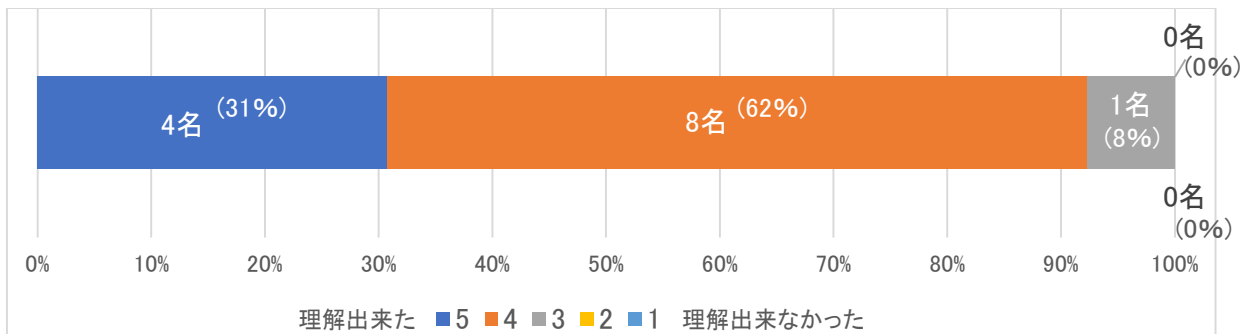
### 荷主企業等



### 運送事業者

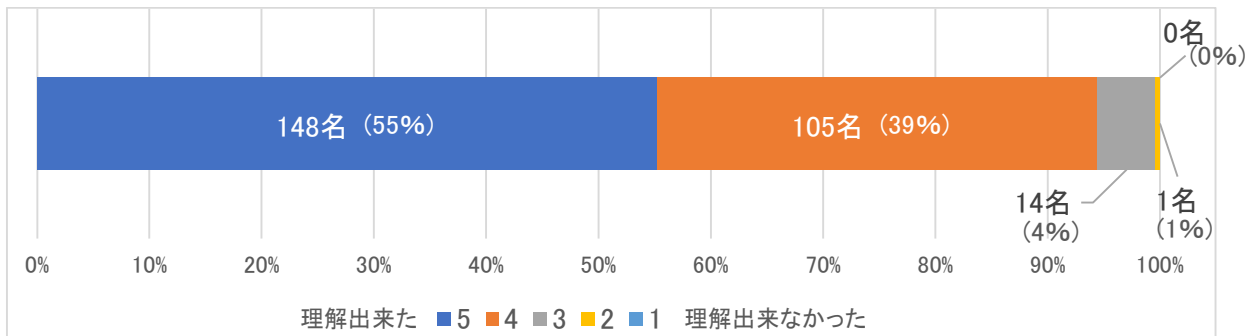


### 行政機関

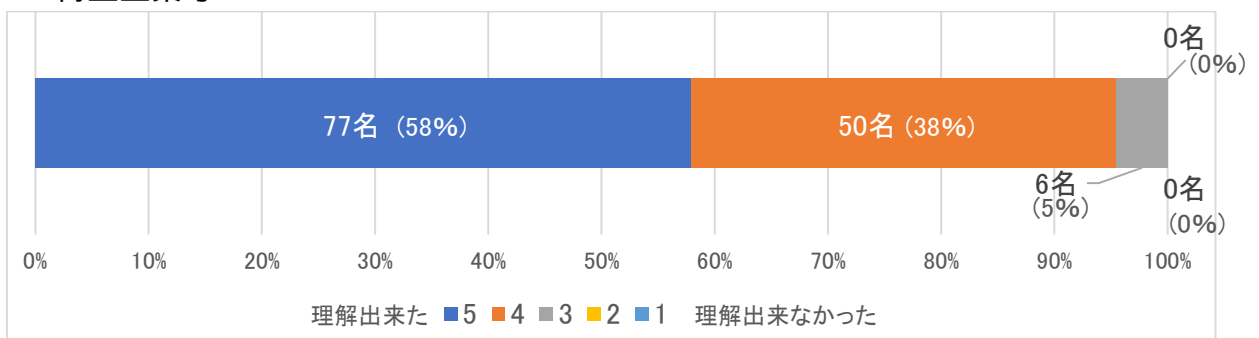


第1部 講演「2024年問題にいかにも備えるか」(講師：立教大学 首藤教授) 理解度

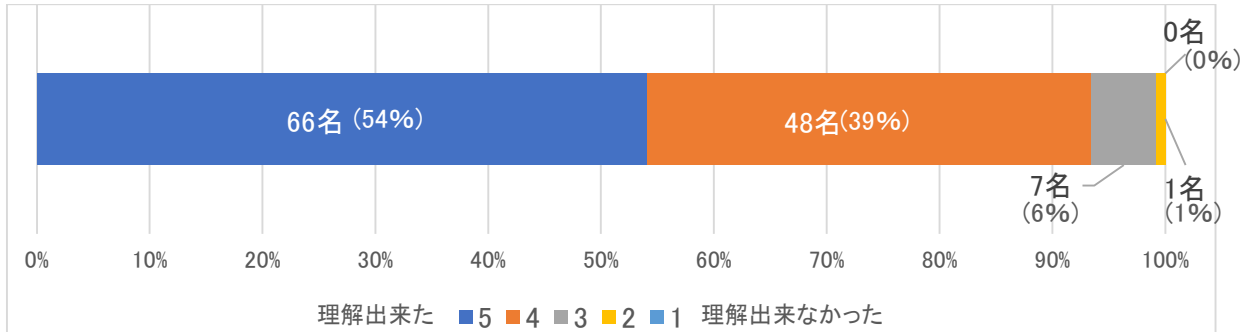
参加者全体



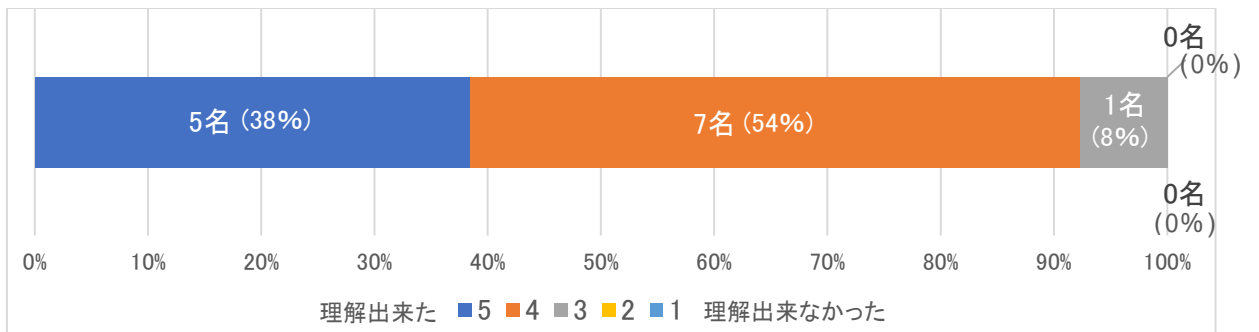
荷主企業等



運送事業者



行政機関



## 講演の主な感想

### 荷主企業等

物流業界が抱えている「2024年問題」について、業界を取り巻く環境全てに問題・課題に対し早急に対応しなければ業界自体の存続も危ぶまれる事態を引き起こすものと思われる。今回のフォーラムに参加し、改善に向けたヒントを多数、傍聴できたので、社内でも情報共有を進めていく。

「個々の企業ではなく、業界全体で生産性を上げていく」という御提言は正鵠を射たものと感じ、これは「全ての中小事業者の中継輸送を当てはめられないか（調和化を促す量子技術を使って）」という弊方の仮説に一致するものであり、改めて事業推進を力強く行っていきたく思いました。また御学等にて意見交換させて頂けますと幸甚です。

様々な深刻化する課題がある中で、荷主の荷待ち時間改善の重要さと、消費者としての意識の大切さを痛感しました。一人ひとり自らの思考や行動を変えることが大切だと痛感しました。

全国的な大きな問題であり、運送業界だけでなく全体で解決していく必要があると感じた。

問題点と原因がよく理解できた。とても興味深い内容で勉強になりました。通販などを利用する個人ユーザーとしても「送料」に労働が発生しているという意識（フェアな意識）を持ちたいと考えさせられました。

2024年問題について運送業者のみならず、荷主等、全てが関わり改善しなければいけない難しい問題だと理解できた。

持続可能という基本を重視した物流が大切と感じました。

2024年度に留まらず以降も対応が続くこと、荷主も一体となって取り組むべきこと等、非常にわかりやすく学ぶことができました。

物流業界の労働時間の長さの短縮には荷主の協力が重要であることが理解できました。

2024年問題について、第一線で問題解決に向けて行動している方の講演を聞くことができよかった。運輸、荷主等に該当しない業種ではありますが、他人事ではないと再認識することができました。

パレットの導入などの設備導入の費用管理を誰が行うのかなど気づきがあった。持続可能な物流の維持に金融機関として貢献していきたいと思った。

2024年問題のどこが問題なのか、どうすれば解決できるのか、体系的に理解できたと思う。金融業界の一員として運送事業者のみならず発着荷主に対する働きかけや情報の橋渡し役になりたいと思った。また、一消費者としても再配達削減等心がけたいと思う。

生産から消費者までの物流システムの改善が部分最適につながることを理解しました。

地方の物流調査に青森県内の運送業者も対象にお願いします。労働時間と賃金について興味深い話を聞くことができた。

短い時間の中での講話だったのでやむを得ないところでもありますが、すごく難しい問題であることを実感しました。

中央だけでなく、地方の企業の声を引き上げて頂ければ幸いです。

TVで取り上げられている内容と一緒に、もっと深掘りしたものを期待していましたが、60分では致し方なし。

運送業界が危機的状況にあり、今後、運送業界では解決不可能であり取り巻く業界が協力して解決していく課題であることが理解できた。労働時間に付随する人材確保や賃金面を含めた立て直しは号令ひとつでできるものではありません。次回は地方の中小企業の運送事業者の成功例が聞きたい。

具体的な解決策をより多く拝聴したかった。

2024年問題に関する認識を深めることが出来ました。対策についてもう少し詳しくご説明いただきたかった。

数字を根拠に現状を理解できた。改善に向けた取り組み例を、数字を根拠に提示いただきたかった。

荷主の理解協力が必要なのはもちろん、先行事例の紹介が印象に残っております。仕組みの活用で業務改善できると良いのかなと感じました。

高齢化や成り手不足が続くドライバーの労働環境改善に対する社会全体の取り組みが急務であると感じた。

「2024年問題」が3年を目途に見直し検討については、認識がなかった。企業として継続をする必要がある。

各社ごとの対応では、難しい部分が多いと感じます。共同配送など、荷物をまとめる努力が必要だと感じた。

ドライバーの切実な思いに答えたく、皆で考えていきたい。

トラック業界だけではなく、社会全体で向き合っていないといけない問題だということが改めて分かった。

2024年問題は、運送事業者、荷主、消費者など、関わるもの全体の問題であり、全体でのコスト負担が必要と感じた。

深刻な人手不足を感じながら話を聞かせてもらいました。企業全体で人手不足、労働時間を改善していきながらこの先考えていこうと思った。

業界のみならず、社会全体の協力が不可欠であるが、どうやって認知度を高めていくかが課題と思った。

2024年はもちろんさらに2027年に向けての問題が理解できた。

現状の運送事業者がおかれている状況を理解できた。適正な価格での運賃確保に向けた取り組みが必要と判断した。

運賃の値上げについては、トラック業界の単価のバラツキが大きすぎる為上げられないと思う。着荷主の問題を大きく取り上げてほしい。

ある程度の内容は理解できた。もう少し青森県を基に説明してほしい。

物流ということで運送事業者 荷主 消費者の連携・共同検討がとても重要と改めて理解致しました。もう少し事例や検討事項を、時間をとっていただき話を聞きたかった。

もっと地方の声を中央で代弁してほしいです。

## 運送事業者

人手不足を有効求人倍率等のデータから追っての説明、ジャストインタイムがより深刻に  
していったこと等、納得のいく説明でした。もう少し時間がほしかった。テンポのある話  
し方が聞きやすかった。

2024年問題という言葉ばかりが先行し、自分が正しく理解できていなかったと感じた。  
2024年問題は運送事業者だけで解決できる問題でなく荷主、消費者も関わる社会問題だ  
ということを改めて理解し、営業担当として無理な業務をしない。双方歩み寄り最善な仕事  
にできるような商談を進めるスキルを高めていきたい。

内容はTVと同じイメージ、首藤教授が運送業の唯一の味方だが運送業は今後重大な局面  
を迎える。

運送事業者、また、地方中小企業の目線から話をさせていただき、非常に頼もしく思いま  
した。荷主とともに、2024年問題という壁を乗り越える事は、この地域また国の経済発展に  
寄与するものであると信じ、引き続き活動していきたい。

資料以外のお話をもう少し多めに頂きたかったです。現場ドライバーの実情、企業の取り組  
み、政府協議会の今後の方向を知ることができ、興味深い。今後も運送事業者の問題点を  
政府協議会で訴えて頂きたい。

運送事業者、荷主、消費者と物流に関わる全ての者の意識が変わらないとならないとい  
うことを強く感じた。

荷主に向けて理解してほしい内容をお話していただけたことにより運送業の現状をさら  
に伝え易くなると感じた。

単独での解決は不可、荷主+行政の協力が不可欠である。

我々、トラック業者側の意見を伝えてくれたと感じました。2024年問題は運送業者だけ  
の問題ではないとこれからも周知していきたいです。また国にどのような対策を今後求め  
ていけば良いのか皆一同考えていかなければと思いました。

社会全体で適正コストを分担するという考えに共感いたします。

運送業従事者以外でも、私たちと同じ目線で見えてくれる方がいてとても心強いと思  
った。労務管理は私たち労務担当者の役割ではあるが、私たちだけではどうにもでき  
ない所があるので、運送事業者だけでなく、荷主様も一緒に深く向き合っていかな  
ければいけないとより強く感じました。

トラック輸送業界がいかに人員不足か、業務内容が大変なことが多い為、実際に離職率  
が高くなるのは必然であるのかなと重く感じています。ドライバー不足から改善して  
拘束時間の改善が大切であることだと思いました。

国で運賃を決めることを強く進めてください。

荷主側に強く協力してもらうことが重要であった。

内容は前々から理解というよりは分かっている。それができないからどうすればいいの  
か分からない。荷主への運賃値上げをお願いしても別会社に頼むと言われる。

普段感じている納得の内容でした。ただしっかりとしたデータから読み解くと、真の  
原因が何か分かりました。根本的な原因をつぶす必要があり、またそれは行政や荷主  
といった広い範囲で改善していかなければならず、そこがまた難しいのだと改めて  
実感しました。(改善には時間がかかる)



発着荷主の理解と協力なくしては、課題解決は難しいが、長年行われてきた商慣行についても見直しが必須。

大企業と中小企業の今後の格差開きを感じます。

運送事業者と荷主の協力が必要だが、現状可能なのだろうか？この問題は関心のない荷主への働きかけは罰則しかないのではないだろうか？

中央・大企業だけに偏ったものではなく、地方、中小企業に対しての検討もお願いしたいです。

荷主としても2024年問題には寄り添ってくれている中で、荷主として、運送業者の力となれる事、明確な対策を求めているフォーラムであった。そういう意味では再度コンセプトを変え開催するべき。

社会経済への（2024年問題の）影響は国民生活に甚大であることから大いにメディアへの発信を続けて頂きたい。

関東圏から遠い青森県や北海道、九州も含め平等な対応策をお願いしたい。荷主の発着先の改善が重要課題だと感じた。

地域的な経済景気的な問題もあり、解決に向けた投資も難しいと思いますが、前向きに交渉していきたい。

複雑な問題に対し、より分かりやすく説明いただいたと思いますし、国や自治体、荷主に対しても踏み込んだ内容で話をしていただけたと感じた。

運送事業者だけでなく、荷主の役割についての話もあり、社会全体で取り組むことが重要であり、大変勉強になった。

運送事業内容の実態をよく理解されており強い味方と感じました。

2024年問題を解決していくには、運送事業者と荷主が協調し、物流業者が抱えている問題をいかに荷主に理解してもらうかが大事であることが理解できた。

ICタグの話が無いことが気になった。

時間が短く感じた。今回参加の荷主に向け、もう少し緊急性をアピールしてほしかった。

運送事業者として感じている問題についても言及され非常に良かったと思う。もっと時間があり、課題に対する取り組みについてもっと説明があればよかった。

## 行政機関

運送の絶対量がEC需要の高まりとともに増大する中、ドライバーの業務量を減らし、待遇を改善していくに当たっては、事業者の努力のみならず、荷主や行政を巻き込んだ地域一体での対策が必要と感じました。

2024年問題が引き起こす課題及びそれに伴う解決策等を示していただき、大変参考になりました。

非常に重要な問題と認識させていただいた、行政として何ができるか考えていかなければならない。

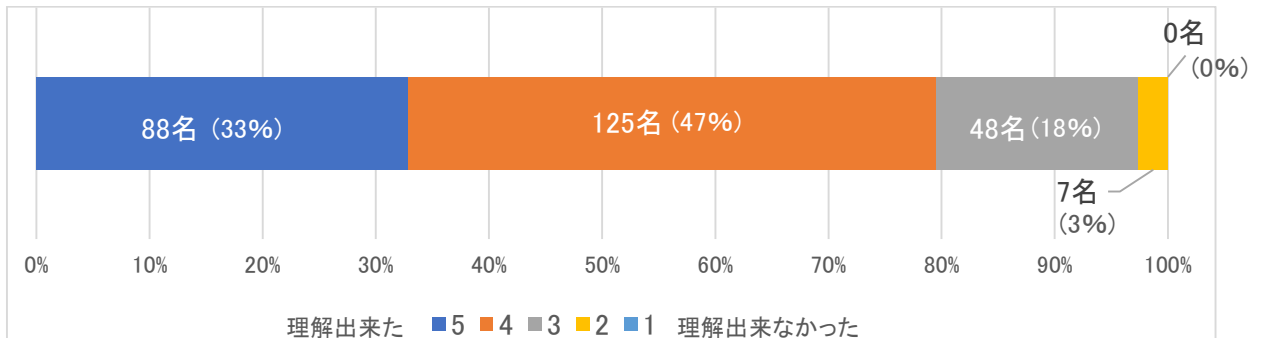
2024年問題は物流業者（トラック）だけの課題ではなく、荷主から消費者まで加えて行政の対応など幅の広い社会的課題であることが分かった。

講師の熱量から2024年問題の現状と課題をよく理解できました。

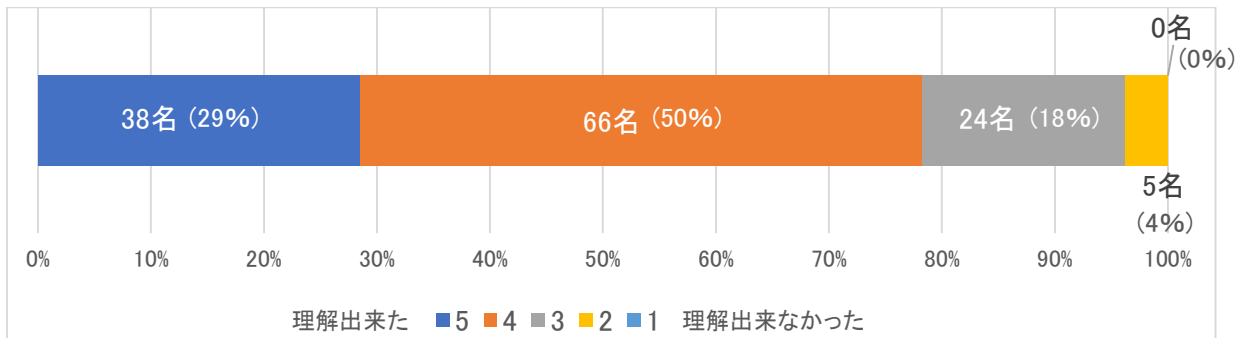
第2部 「2024年問題の関係法令（八戸労働基準監督署・青森運輸支局）」「適正な取引の推進について（公正取引委員会 東北事務所）」「プレゼンテーション（青森県トラック協会三八支部 青年部会）」理解度

八戸労働基準監督署「改善基準告示等の関係法令」

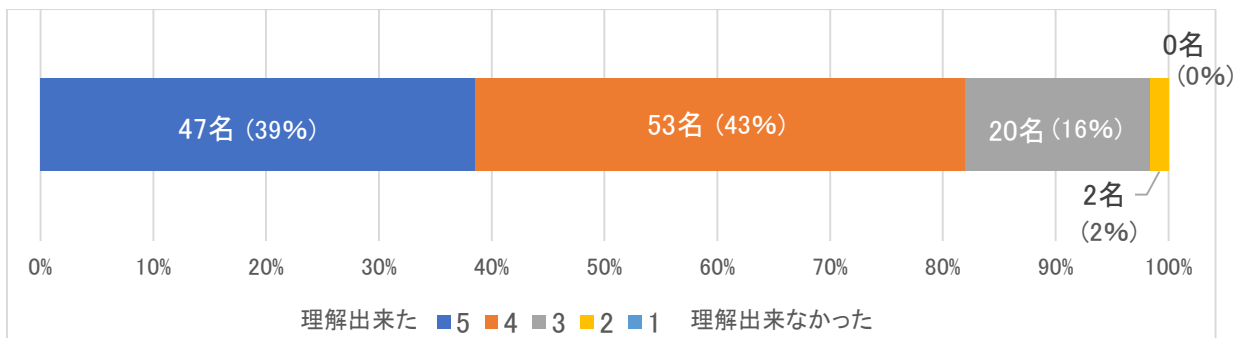
参加者全体



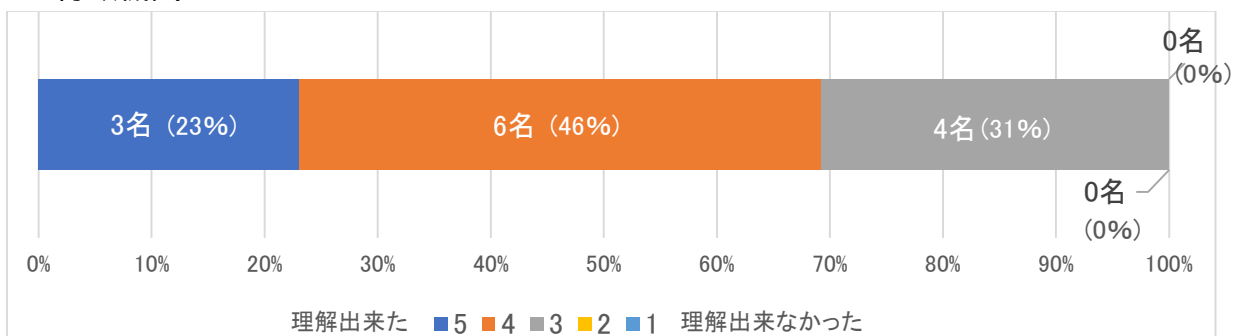
荷主企業等



運送事業者

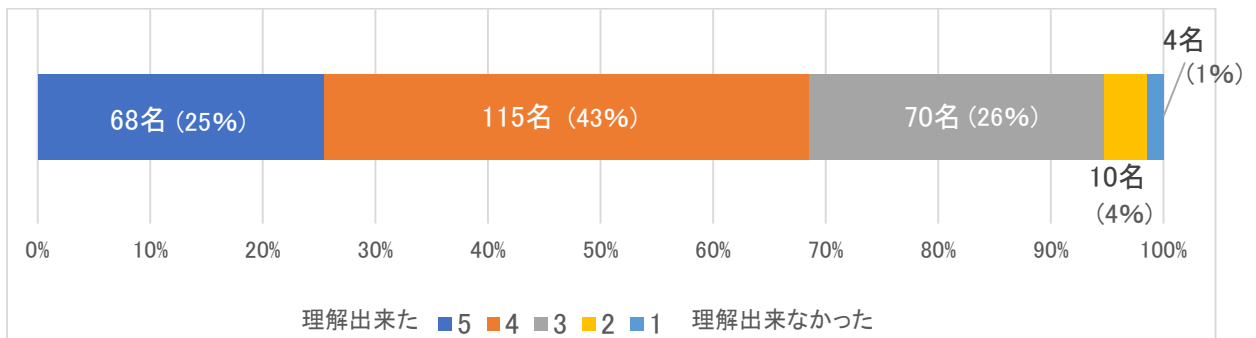


行政機関

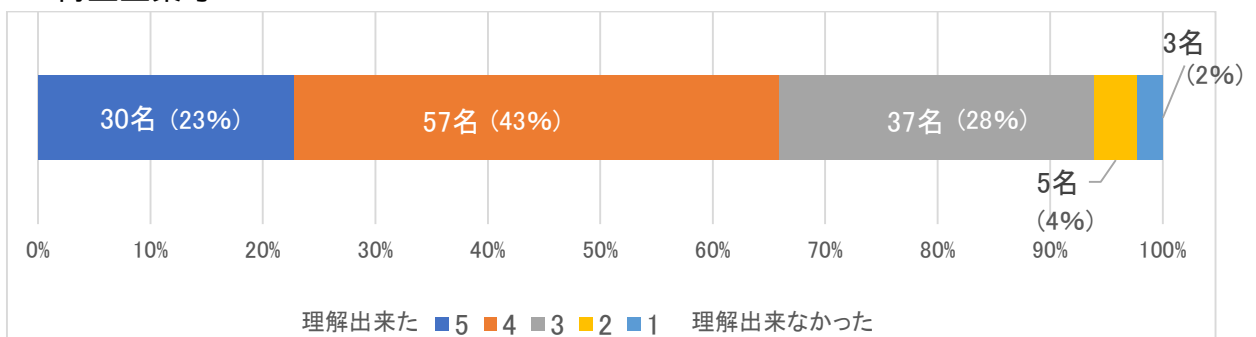


青森運輸支局「標準的な運賃における・行政処分基準、状況・荷主対策の深度化等の関係法令」

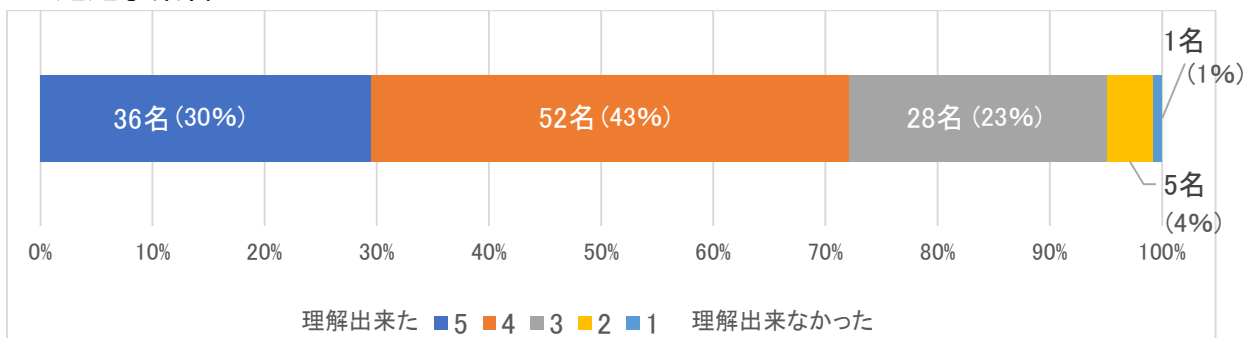
参加者全体



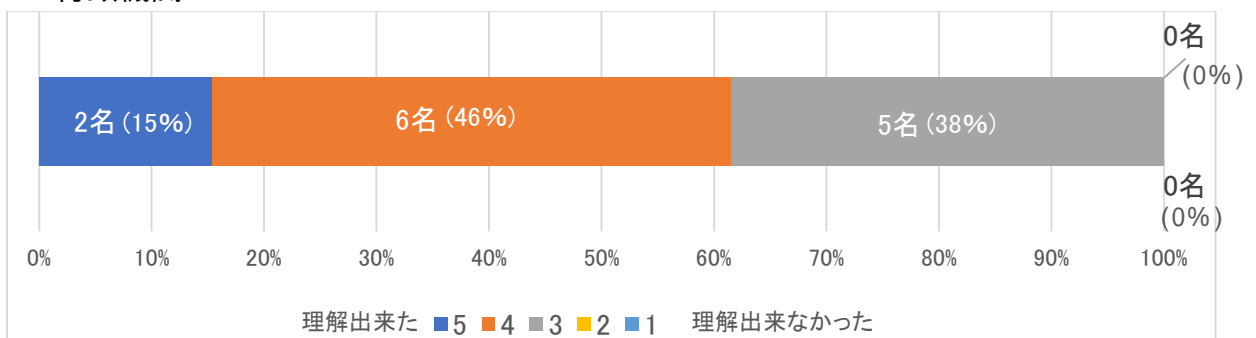
荷主企業等



運送事業者

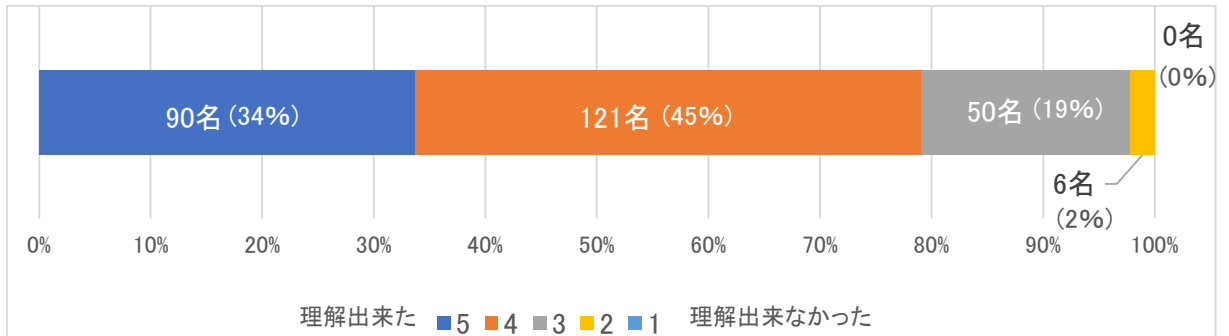


行政機関

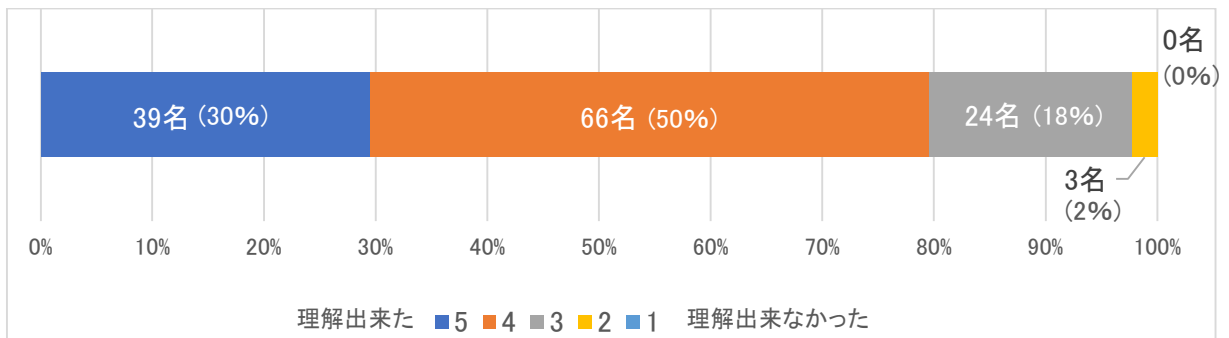


## 公正取引委員会「物流分野における適正取引の推進」

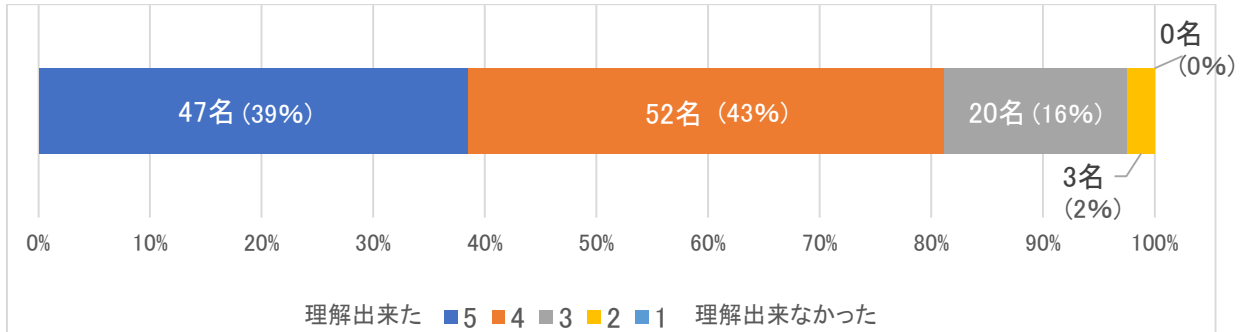
### 参加者全体



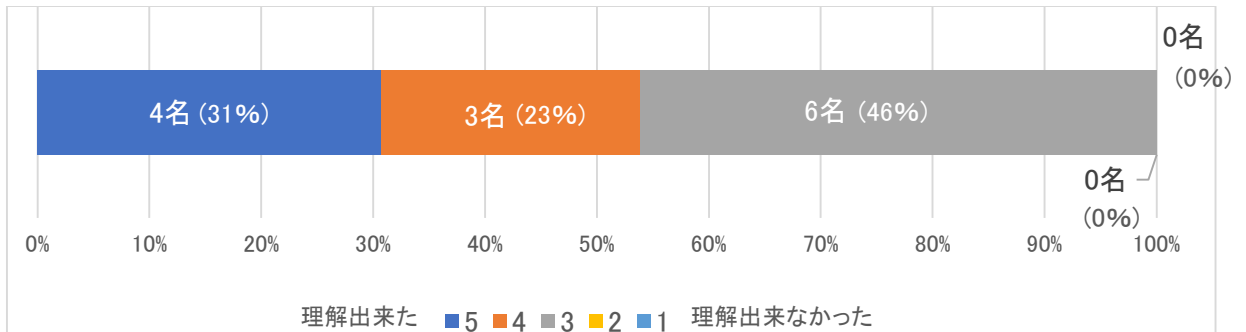
### 荷主企業等



### 運送事業者

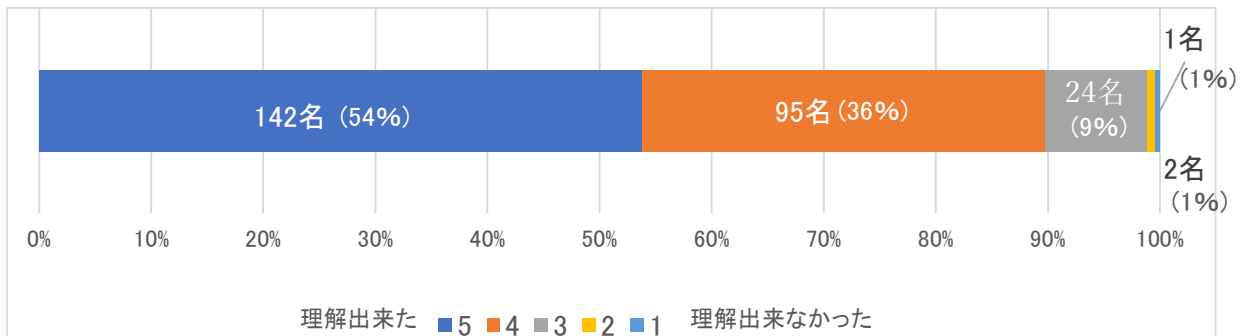


### 行政機関

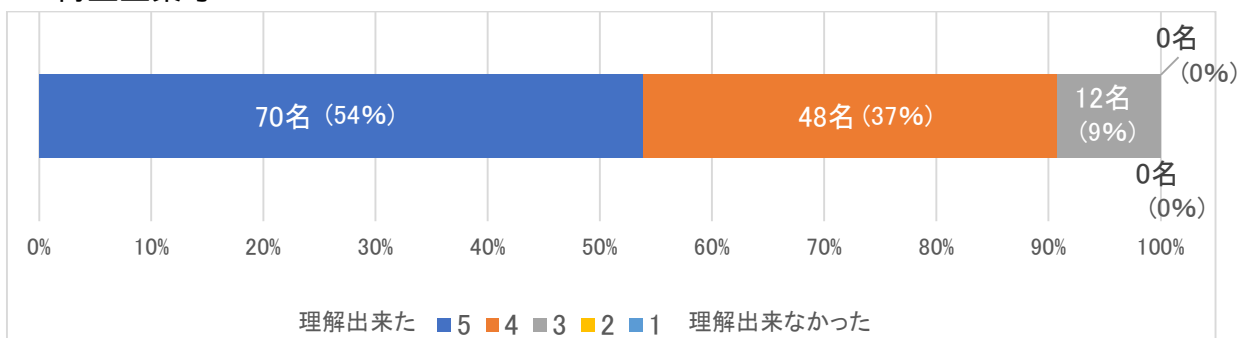


## 青年部会プレゼンテーション「物流の2024年問題を考える」

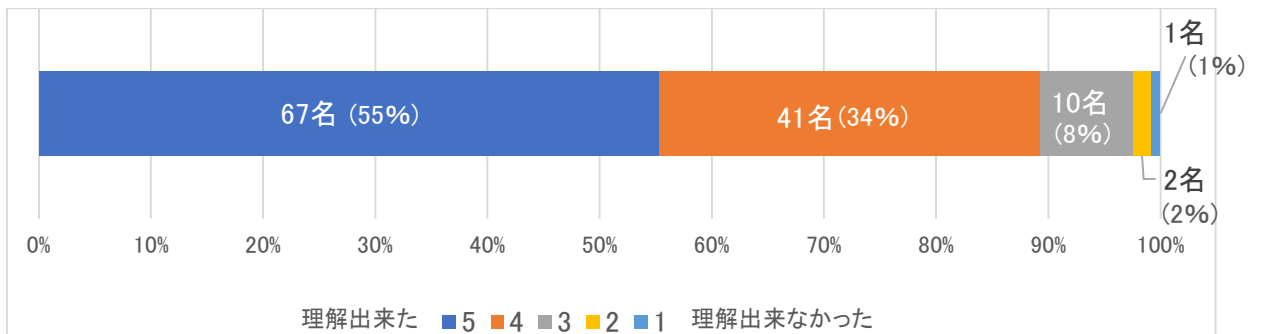
### 参加者全体



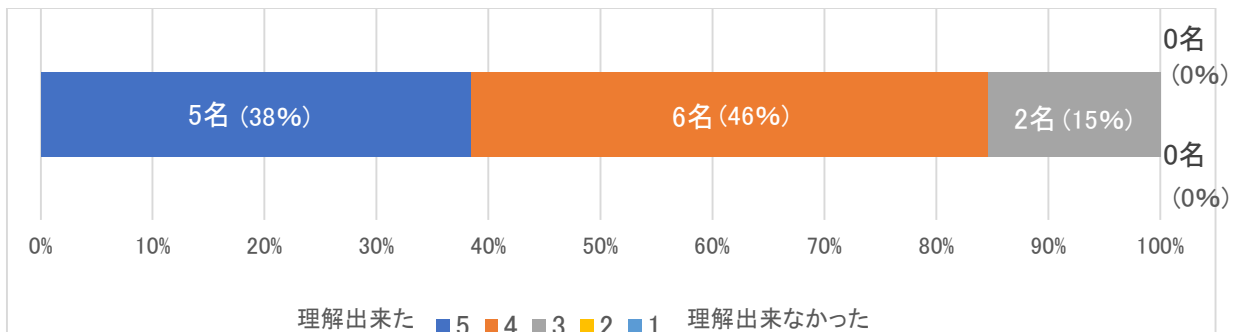
### 荷主企業等



### 運送事業者

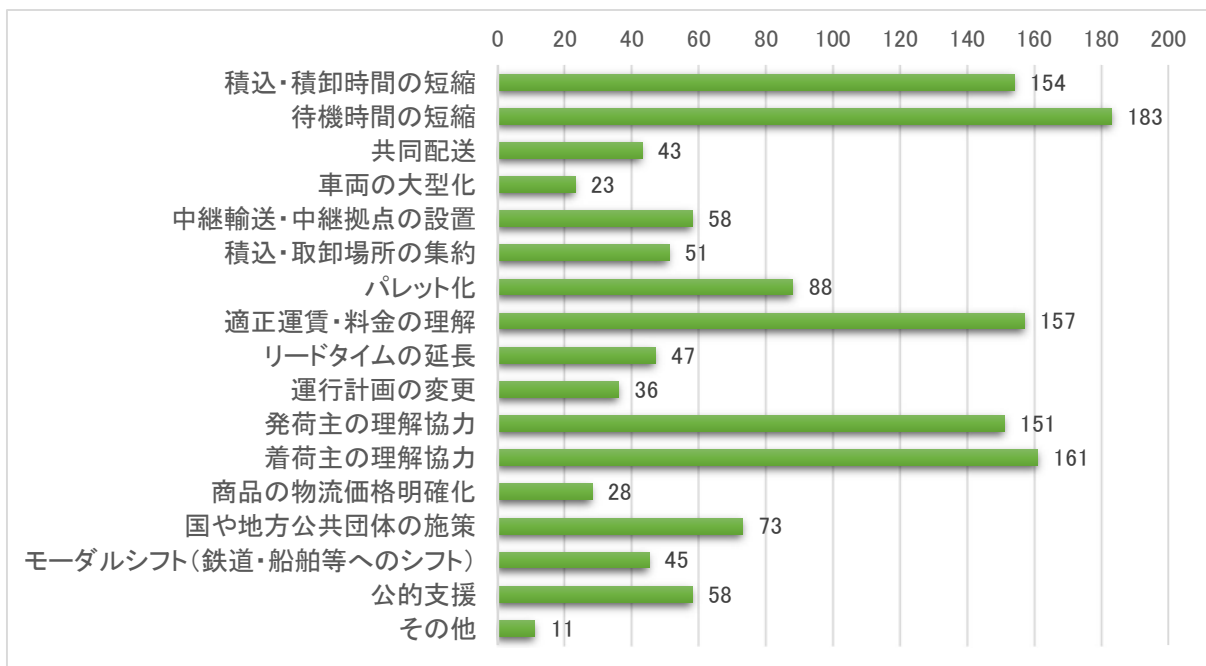


### 行政機関

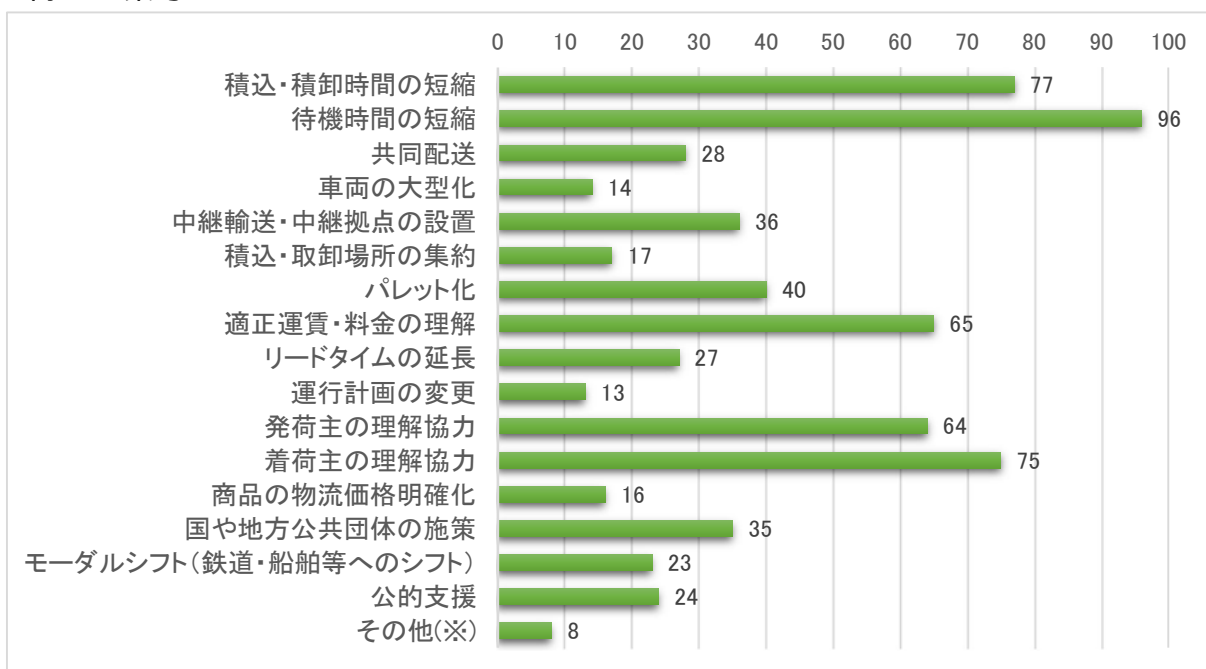


## . 2024年問題の対策として考えられる項目（複数回答）

### 参加者全体



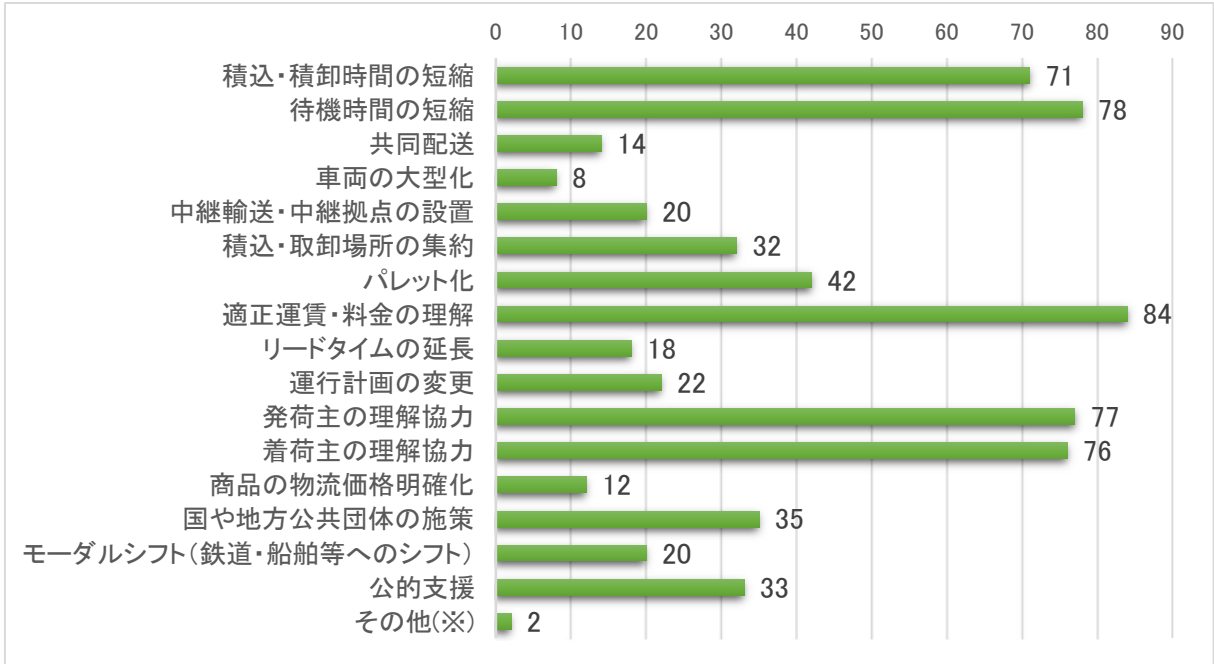
### 荷主企業等



#### ※ 荷主企業等 その他の回答

- ・高速道路の速度規制の見直し、運送会社の労使交渉、便数の増加・増員の支援
- ・高速利用料金の軽減措置、鉄道が利用しやすいように国土強靱化施策
- ・状況把握の必要性(時間・原価管理)、最終消費者の理解・協力
- ・宅配、通販事業者の配達時間調整の共通プラットフォーム化(アプリ)

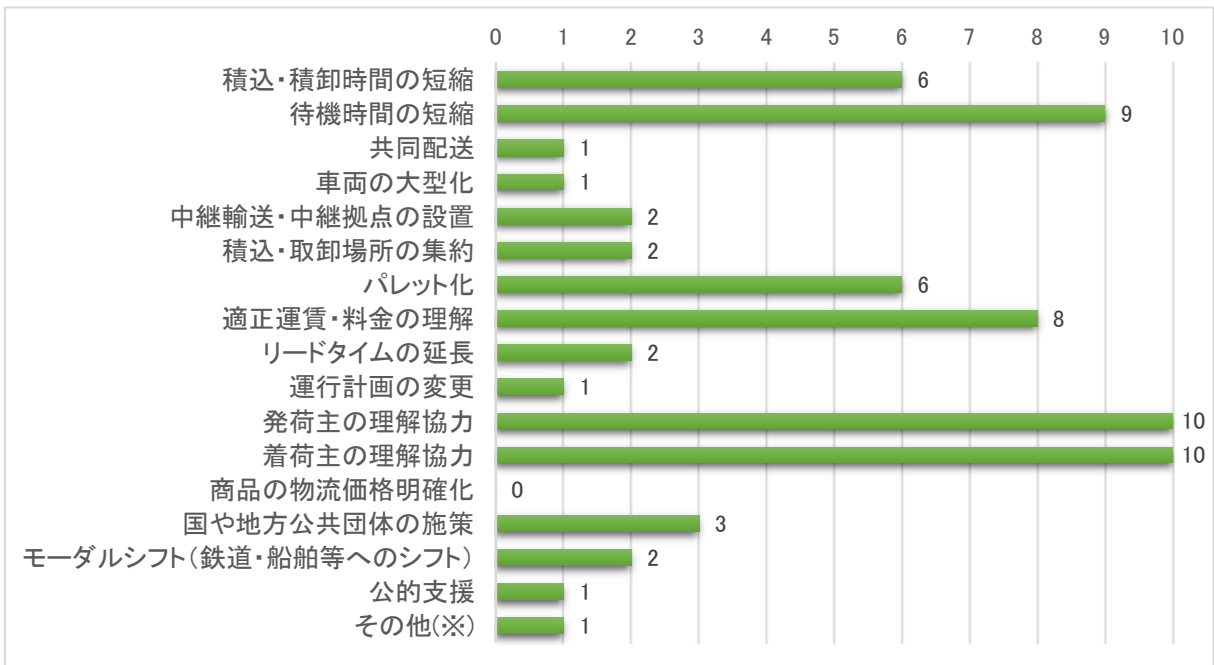
## 運送事業者



※ 運送事業者 その他の回答

- ・全体に罰則化・他人事にさせないことの必要性、高速道路大型トラックの制限速度緩和

## 行政機関



※ 行政機関 その他の回答

- ・事業者、荷主問わない価格転嫁

## ・八戸物流フォーラム全般のご意見、ご感想

### フォーラムの感想

#### 荷主企業等

2024年問題に官民また物流、荷主、着荷主含め一丸となって取り組む必要があると感じました。

物流が成立しないと、業界も成立しない 双方が理解し合いながら解決に向けていく必要がある。

地域の事業者を支える施策を考えていきたい。

人手不足、賃金、運賃等問題改善を進めていきたい。

2024年問題解決に向けて具体的な打開策が現状なく、自分が想像していたより厳しいと考えさせられました。

我々は荷主側となり、運送会社への協力は惜しまないが、着荷主側の理解、協力、卸時間等への意識改革が必要である。

今後の物流についてこのような会をもっと開催してほしい。若年層にも聞かせたい。

具体的な問題点、三八地区での深掘りが興味深かった。実務における対策など今後の課題で自社でのサポートなど考える機会となった。

2024年問題が運送業だけの問題ではないと改めて認識するよい機会になった。

八戸だけでなく、青森県の輸送事業の内容、運送業者を参考に2024年問題を考えてほしい。

早急な物流コストの運賃転嫁が必要だと感じた。トラックドライバーの収入を確保しないと本当に物流がストップしてしまうと感じた。

2024問題を改善できるDXの商品展示などあると問題に対する解決策として理解が深まると思った。

建築鉄骨材輸送については、パレット化は難しいがいろいろ考えたい。

適正運賃について、実際とどれだけの差があるのか、個人的には到底及ばない状況であると感じ、しかしながらクリアするには課題がありすぎてどうとらえたらいいのか困惑した。

運送業のみならず社会全体が考える機会をいただけた事、とてもよかったです。

議論がSDGsの論点に言及されなかったのは残念だった。人口減少社会にあって産業構造を見直さなければならないと痛感しました。

自動車整備士も物流を下支えしている業種で、ドライバー同種、整備士不足であることもご理解いただきたい。



## 運送事業者

八戸でこういった大きな物流フォーラムが行われるとは思っておらず驚きました。首藤先生の講演を聞く機会をいただけて良かった。パネルディスカッション方式があっても面白いかと思いました。

実に良いフォーラムでした。発着荷主が変わらないと何も変わらない。商品の物流価格明確化も明確にし、輸送コストはインフラコストであると気づくべき。

荷主側に少しでもこの問題が届いてくれればと思う。開催して頂いてありがとうございました。

物流企業と荷主とのパートナーシップ構築が問題解決の基礎にあることが理解できた。

荷主と同席にて講演を聞くことができ、理解してもらえる点もあり、一緒に問題を解決していけたらと思う。

非常に興味深かった。運送業界と荷主の相互理解が不可欠。

現状の課題が分かる良い研修会でした。今後 2024 年問題をキッカケに変えていきたい。

プレゼンはとても分かり易く現状を表していた。最後に来て核心に迫った意見交換が有意義だった。

2024 年問題についての理解が深まりました。荷主の出席も多く 2024 年問題への関心が高まってきていると感じた。

荷主との協力が不可欠。発着荷主の意識は変わりつつあるので、着荷主についても巻き込みたいと感じた。

トラックドライバーの働き方を考え直す（業者、荷主）いい機会になったと思います。

最後のプレゼンテーションが疑問を投げかけたタイプだったので、最初に持ってきてほしかったです。

荷主、運送側両方でフォーラム参加することで今後に活きると思う。

概ね課題などは理解できました。法律の改正は読めばわかります。具体例とか成功例等を話してくれれば参考になると思います。人材不足、低賃金はわかる、だから業界としてどうすればいいのかを具体的な未来について話すフォーラムにしてほしかった。弊社はダンプ屋です。例えば常用では 4 時間に 1 回の休憩を取るとかの法律を荷主に加わせるよう行政からも働きかけてほしい。

監督署、運輸支局は毎回同じ事を言っている。現状、運送事業者と荷主のパートナーシップが難しく、2024 年問題が迫っていることから本フォーラムを行った経緯があるのにもかかわらず、荷主は自分達が呼ばれた意味を分かっていない。現状を把握し、改善するためにどうすべきか行政も考えてほしい。

青森が衰退していきそうで怖いです。

## 行政機関

荷主を強く指導する必要があると感じた。

## 協会・行政に対する意見・要望

### 荷主企業等

県で中継地に倉庫を持てば、コスト・労働時間等改善できるのでは？官民一体を希望します。

人の問題に対し将来不安を感じます。公的支援が必要となってくると思いました。

2024年問題に対して業界（会社）がどう対応するのか、明確化されていない。まとめ役がない。

本州最北端の青森県内企業にとってゆゆしき問題だと考える。行政の支援も検討いただきたい。

地域ごとに格差が出ないように、税金や助成金などの対策を前向きに考えて頂けたら幸いです。

非常に良い取り組みだと思います。公的支援を具体的に明示いただきたい。

着荷主、消費者へ説明をぜひ行っていただきたい。

タクシーのように国で決めた料金で運賃を決める等大幅な改革も必要なのではないかと。

物流事業者のみならず、荷主企業に対する施策がもっと必要と感じます。（勧告や罰則だけでなく）例えば、パレット化や設備投資に対する助成や税制優遇など、更に拡充されれば、もっと荷主企業の理解が高まると思った。

持続的な運送を行うために、運賃の改訂が重要であり、荷主へ納得させる手段が必要であり、そのやり方を具体的に示すことが重要と考えます。

物流にフォーカスして内容の濃いフォーラムだと感じた。是非継続的な開催を望みます。鉄道事業者として八戸市八戸港の発展に何かお手伝い出来ないかまた鉄道の優位性をプレゼンできないかと考えます。

運送事業者のみならず、荷主、消費者の理解・協力が必須だということを思い知った。

周知、努力、理解も重要ですが、地域の産業、生活を守るためには、国、行政等の強い支援が必要ではないかと感じました。

行政機関が定めた法律なのに、行政の今後の取組が弱いように感じた。

運送事業者だけでなく、ユーザーである国民全体で取り組むべき課題である。

荷主に対するインセンティブが明確化できなければ協力を得ることが難しいのではないかと。2024年問題のインバイト（首藤先生の資料P8）が八戸地区ではどうなのか検証してから対策を考えるべきではないか。

## 運送事業者

運送事業者、荷主、行政機関を含め意見交換をして 2024 年問題に対しての対策、取り組みをしてほしい。

持続可能な物流のためには官民の協力が必要だと思う。

荷主負担が多くてもダメ、軽油値下げと高速道路 80%引、国が主導。

荷主側の意見も聞きたかった。

荷主合同での講習会を今後も開催してほしい。

このような講演をもっと増やし、八戸の物流を考えていくべき。実際のトラックドライバーの声を聞くべき。

案内を出しても来場しない荷主へ YouTube、資料の送付を行ってください。

この先補助金支援もまた行ってほしいです。

部会長のお話のように税制面や高速道路料金の支援が必要と思われる。

高速道路制限速度 80 km を 90 km ~ 100 km へ希望しています。

高速道路の SA・PA が夜間割引の適用を受ける為、混み合い、休憩できず空いている SA・PA まで連続運転しなければならない。運転拘束時間や休憩時間の改定により、ますます混雑が予想されます。「我先に」休憩場所の取り合いになるのでは？トラック協会員は「昼も割引可」等の国への働きかけをお願いいたします。

車両の大型化による道路整備を行わないと実現が難しい。(特車許可)